

# 古い土の 再利用について

古い土をそのままに次の植物を育てると、成育に影響が出ることもあります。土の状態を見て植え込みます。一度植物を育てた土は団粒構造が崩れ、排水性、通気性が悪くなっています。もちろん肥料分も花や実に吸い取られて少なくなっているし、病原菌や害虫などが混入している可能性もあります。とはいえ、使い捨てはもったいないですし、土を捨てるのも難しい、という事情もありますので、用土を改良して、再利用する方法をご案内します。

## 1 プランターの土の再生方法(完璧バージョン)

- ①ブルーシートに古い用土全体をあける。
  - ②鉢底石を使っている場合は、鉢底土をとり分ける。
  - ③古い株・根っこや枯れた葉・ゴミ・虫など取り除く。  
・・・あれば、フルイにかけてとなおよい
  - ④プランターを洗う。(特に内側を丁寧に)
  - ⑤黒いポリ袋に土を入れ密封、一週間ほど直射日光に当てる(熱で病害虫を退治)
  - ⑥上記①～⑤を済ませた土に市販の「土の再生材」2～3ℓを加えてよく混ぜる。
  - ⑦以上の後、プランターに土を戻し、不足の時は市販の培養土を足す。
- ※以上の作業は土が乾燥している状態のほうが、進めやすい。

以上は、『ここまでやれば完璧!』という方法で、忙しい方にはハードルが高く感じられるかもしれません。もう少し簡易な、下記の方法でも大丈夫です。

## 2 プランターの土の再生方法 (簡易バージョン)

ベランダ園芸の場合、ブルーシートの上に土を広げる、という作業も、大変なことと思います。プランターの中で行える作業方法として、下記の方法をご案内します。

- ①古い株を抜き取り、移植ごてや手で、プランターの中の土にある古い根や枯れた葉やゴミ、虫などを丁寧に取り除きます。
- ②①できれいに掃除をした土に、
  - ◎苦土石灰を軽くひとつかみ
  - ◎腐葉土もしくは堆肥を全体の1～2割程度
  - ◎緩効性肥料軽くひとつかみ加えて、よくかき混ぜます。
- ③上記で土が足りなくなった場合は、新しい培養土を加えます。

## 3 土の再生材

ホームセンターや園芸店などで、メーカー各社から「土の再生材」「土のリサイクル材」などと表示された商品が市販されています。主な成分は、堆肥などの有機物ですので、堆肥で代用しても大丈夫です。

